校友時報

所行發
愛媛県立能代高等学校
新聞部

印刷人　大野栄治郎印刷所

螢雪の功成りし百六十六名
別れ行く卒業生

教育制度の改革にともないべきである中学校から高等学校へと健それにさき立ち、三学年の全な歩みをみせた能代南高全課程を終了し社会に飛び出す卒業生総数百六十六名の前途を祝しての予餞会は二十三日(金)午後一時から

周圍の情勢に左右されるな

學校長メッセージ

新しく卒業される諸君は愛悟を新たにし、またいろいろな計画を立てて新しく社会に出発せんとしていることと思う。そこで世の中へ出たらまずエチケットを忘れてはならないと思う。

此の問題は私がいう迄もなく如何なる場合にも係て大切な事である上級学校へ進学する人にしても就職する人にしても恒に誠実であつてほしい。特にすぐに実社会にとび出す人はこれをよくかみしめてもらいたい。

現今の世界情勢も國内の問題も自然若い諸君には大きな影響を與え諸君の周圍の空氣を動かすことであろうが、諸君が時々の情勢に左右されることがないようにしてもらいたい。特にこれから上級学校へ進学される諸君は時々の情勢ばかりに出たらまずエチケットを忘れることなく自己の才能、実力、性格を十分見究めて自分に合つた方面に進むべきで時世の移り変りを正しく見究めどんな困難にも打勝つてその目的を達成するように努力してほしい、何年か後に正しい判断力と実行力を持つた有能な社会人となる事を希望してやまない。

諸君が實社會に飛出していつて色々な学校時代と違つたことを經驗する事と思うが前にものべたようにつねに誠実な心を持つて正しい考へ方を し責任の持てる行動をなし、不見識な無責任な人間にならず正しく生きていく事を希望する。

卒業したからといつて学校からはなれてしまつたわけではない。学校には同窓会を通して今後は色々と援助や協力してもらう事と思う又学校からも諸君等の必要に應じて色々の形で援助して行く所存でいる。卒業後も後輩のために良き先輩として學校のために盡してほしい。

今の世界がいかに變轉しようとも次の時代のバックボーンとなる諸君は他に頼む事なく自分の務を完全に果すよう最善の努力をして開かるるなり」と、この言葉は諸君ほしい、そうする事が諸君自身を立派な人間としようとするのではなく、

論說

卒業生への言葉

新約聖書の中に「求めよ、学校を卒業する事は希望の門出である。しかし社会は理想に描いているよりは甘くない所らしいそれだから卒業生諸兄は今實社會へ巣立とうしているある人は学らなくても良いのである。

卒業生諸兄、諸兄等の行爲は我等あとに殘る在校生のみならず、各方面からも多大の期待がかけられているなく諸兄への親しみによつて諸兄の科学的な見識により新しい世界を創造する時必ずやこの流れがその目的に合致した大きな力を持つて又もや発展するであろう事を私は確信したいのである。

高校生活への反省

三E　仲村浩一

長い間白いベールに包まれて静かな眠りにふけつていた母校のグランドが輝かいに長かつた高校生活であつの学校を離れねばならないのだと思うとき、やはり何た様に思いますがしかしそ

んともいうことの出來ない様なセンチな氣持になり一人でぼんやりと学窓から自犯したり先生に反抗したりするな」ということです。

考えますと自分では非常自分などがその英雄的な存在を欲してやつたものですから私は經驗者として馬鹿

らしいことだということを あえて言いたいのです。英雄諸氏は速刻自省すること が大切です。それから自分の体驗ですが「委員たるのは委員の責務を完全に爲せ」と強調しておきます。

それから生徒諸君はもつと名譽とか地位というものを なして欲しいということで 二年の頃はとかく勉強ばかりしても駄目だ、学生時代こそ大いに遊び廻る時代といつて月日の經つのも忘れて遊び廻つたのですが、卒業を前に控え就職とか受驗に相遇して深く下級生の頃の自分がもつと勉強家で点取蟲であればよかつたのにとつくづく思います、下級生諸君は私は卒業にあたつて先ず皆によく學ばなければ駄目だということを主張します。そしてその体力の恢復に運動を持つて來ることです、それから矢張感すとの間何を爲してきたともいうことの出來ぬこの三年間は考え様によつてあまりに短くもう少し長い期間であつてくれればよかつたと思うこともあります、一年の間はとかく勉強ばかりしても駄目だ、学生時代こそ大いに遊び廻る時代といつて月日の經つのも忘れて遊び廻つたのですが、卒業を前に控え就職とか受驗に相遇して深く下級生の頃の自分がもつと勉強家で点取蟲であればよかつたのにとつくづく思います、下級生諸君は私は卒業にあたつて先ず皆によく學ばなければ駄目だということを主張します。そしてその体力の恢復に運動を持つて來ることです、それから矢張感すとの間何を爲してきたともいうことの出來ぬこの三年間は考え様によつてあまりに短くもう少し長い期間であつてくれればよかつたと思うこともあります、一年の頃